

誰ひとり取り残さない平和な社会のために ～消費者の学習、対話、選択、行動の継続で～

「全国消費者大会」は今回で57回目の開催となる消費者と消費者団体の集会です。
今回も「世界消費者権利の日 World Consumer Right Day」に合せて開催します。

※世界消費者権利の日(2019年3月15日)テーマ「信頼できるスマート製品」

国際消費者機構(CI)では、「消費者の8つの権利と5つの責任」を掲げています。消費者団体は、この8つの権利の実現に向け日々取り組んでいます。また、消費者市民社会の実現や国連持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、自らの消費生活が他者・弱者に与える影響を自覚する「社会的関心」や、消費行動が環境に及ぼす影響を理解する「環境への自覚」といった5つの責任を果たすことも必要です。消費者政策、環境、食、社会保障、平和、災害など、消費者に直接かかわる課題について取り組みを継続していきましょう。

日程と会場

2019年 **3月15日** (金)

主婦会館プラザエフ内各会場

〒102-0085 東京都千代田区六番町15

電話 03-3265-8111

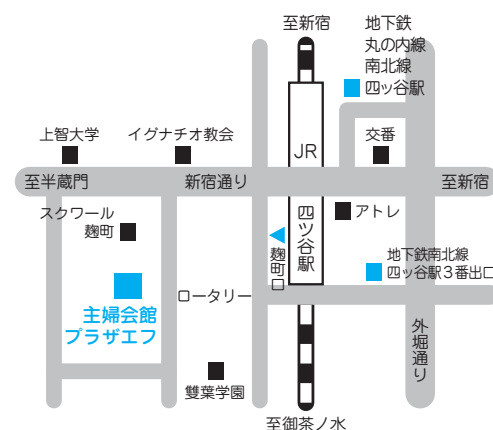
主 催

第57回全国消費者大会実行委員会

参 加 費

おひとり1,000円 (学生500円)

(全体会、各分科会の全てにご参加いただけます)



託児 あり 料金：1人 500円 ※託児(受入可能年齢6ヶ月～9歳)をご希望の方は3月7日(木)までに事務局にお問合わせください。
(期日までにご希望がない場合は、取り止めさせていただきます。) TEL：03-5216-6024

第57回全国消費者大会(3月15日開催)《参加申込用紙》

参 加 申し込み方法

申し込み用紙をご利用の上、FAXか
電子メールで、右記までお申し込みください。

締切日：3月7日(木)

FAX：03-5216-6036

メールアドレス：webmaster@shodanren.gr.jp

全国消費者団体連絡会事務局気付
第57回全国消費者大会実行委員会事務局
〒102-0085 東京都千代田区六番町15
プラザエフ6階

電 話：03-5216-6024

ホームページ：http://www.shodanren.gr.jp

参加者のお名前およびご所属団体名	参加希望企画に○をつけて下さい。	
	3/15分科会 13:00～	3/15全体会 17:00～
お名前：	消費者政策 環境	全体会
ご所属団体名：	社会保障 食	
お名前：	消費者政策 環境	全体会
ご所属団体名：	社会保障 食	

* どなたでもご参加いただけます。お気軽にお申し込み下さい。

* いただいた情報は消費者大会参加集約の目的以外には使用いたしません。

* お申し込み状況によっては、分科会の間で参加者を調整させていただく場合があります。予めご了承ください。

ご連絡先TEL:

分科会

2019年3月15日(金) 13:00～

「消費者政策」分科会 13:00～16:30

テーマ：つながるって大事?!
～地域で見守るくらしの安心～

会場と規模：3階会議室(50名)

報告：梅田政徳さん(消費者庁 消費者教育・地方協力課 課長補佐)
待鳥三津子さん(消費者庁 消費者教育・地方協力課 政策企画専門官)
岩田美奈子さん(一般社団法人 シニア消費者見守り倶楽部 代表理事)

講演：日野勝吾さん(淑徳大学コミュニティ政策学部 准教授)



日野勝吾さん

国の消費者基本計画では、改正消費者安全法を踏まえた消費者安全確保地域協議会の設置促進、既存の見守り体制と消費者被害防止関連機関や諸団体が連携した見守りネットワークの構築推進を謳っています。平成29年度高齢社会白書によると、65歳以上の高齢者のいる世帯は約半分、子どもとの同居は減少し、高齢者の一人暮らしは増加しています。また高齢者を狙った消費者トラブルが増加している中、消費者被害を未然に防止し、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにも、地域での多様なつながりや周りの方々の見守りが求められます。身近な地域でできることを一緒に考えてみませんか。

「社会保障」分科会 13:00～16:30

テーマ：広がる貧困・格差、このままでよいのか!!

会場と規模：7階カトレア(80名)

講演：井上伸さん(日本国家公務員労働組合中央執行委員)
佐々木寛さん(新潟国際情報大学教授)



井上伸さん



佐々木寛さん

貧困と格差が広がっています。それは、勤労者の賃金・収入が伸び悩み、社会保障制度の再分配機能が働いていないからです。一方で、高額所得者は増え、企業の内部留保額は年々積み増しされています。

消費税10%への引き上げは、私たちの生活不安を増幅させています。「社会保障に使われるなら、仕方がない」「どうしても負担が少なくて済むか」と考えていませんか。社会保障の充実、消費税増税をどうとらえたらよいのか。いっしょに考えてみませんか。

「環境」分科会 13:00～16:00

テーマ：海の豊かさを守ろう
～あらためてプラスチックゴミによる海洋や生態系への影響を学び、私たちができることを考えよう～

会場と規模：B2階クラルテ(80名)

報告：小島あづささん(一般社団法人JEAN事務局長)
金子浩明さん(環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室室長補佐)
環境活動に取り組む事業者または事業者団体(交渉中)



小島あづささん

2018年の夏、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中から、プラスチックごみが発見されたニュースをおぼえていますか?
東京都環境局によれば日本近海のマイクロプラスチックは、2015年時点で日本周辺海域では北太平洋の16倍、世界の海の27倍にも及ぶとのこと。UNEPによると、2015年の世界のプラスチックごみのほぼ半分が、包装容器などの使い捨て製品。総排出量は中国が最多ですが、1人当たりの排出量では米国に次いで日本は2番目に多いといわれています。こうした現状を知り、使い捨てのライフスタイルを見直し、プラスチックによる海・河川・地域社会の汚染を抑えるために私たちはどうすれば良いのでしょうか。参加者みんなで考えます。

「食」分科会 13:00～16:30

テーマ：この表示信じられますか?
～子どもにも忍び寄り健康サプリ～

会場と規模：5階会議室(70名)

講演：田中誠さん(消費者庁 表示対策課 食品表示対策室 課長補佐)
野崎佳奈子さん(公益社団法人 日本広告審査機構 審査部)

2歳の子どもからサプリメント?! 今や、キャッチコピーにつられて健康サプリメントに手をのばすのは、健康を気にしている大人だけではありません。成長期の子どもたちが容易に手にしやすい売り場で、グミや錠剤の形状で手軽に買うことができます。子どもの成長に敏感な親心をくすぐる巧みな表現や、イメージにのせられてはいませんか。成分に問題がある場合もあります。現場の事例や表示の違法性の見分け方をクイズを交え、専門家からレクチャーを受けて、広告の見方を学びます。

全体会

2019年3月15日(金) 17:00～19:00

テーマ：生きている憲法のかたち
～護憲・改憲・多様な意識～

会場と規模：地下2階クラルテ(150名)

講演：^{じょうじ} 常寿 常寿さん
(東京大学大学院法学政治学研究科教授)



常寿 常寿さん

2018年10月に開会した臨時国会で、首相は自民党の憲法改正案を国会に提示する意欲を改めて強調し、衆議院憲法審査会の強硬開催など、さらに数に物を言わせれば国民投票も実現しそうな勢いの「憲法改正」。

そもそも「憲法」とは何か。普段の生活・くらしに息づき、社会を守っている「憲法」、人々に守られている「憲法」。私たちの身近にある「憲法」を知り、国民一人ひとりが憲法を巡る議論をしていく十分な環境をつくるにはどうしたらよいかを考えます。